



一般社団法人
近畿建設協会

会社紹介





一般社団法人

近畿建設協会

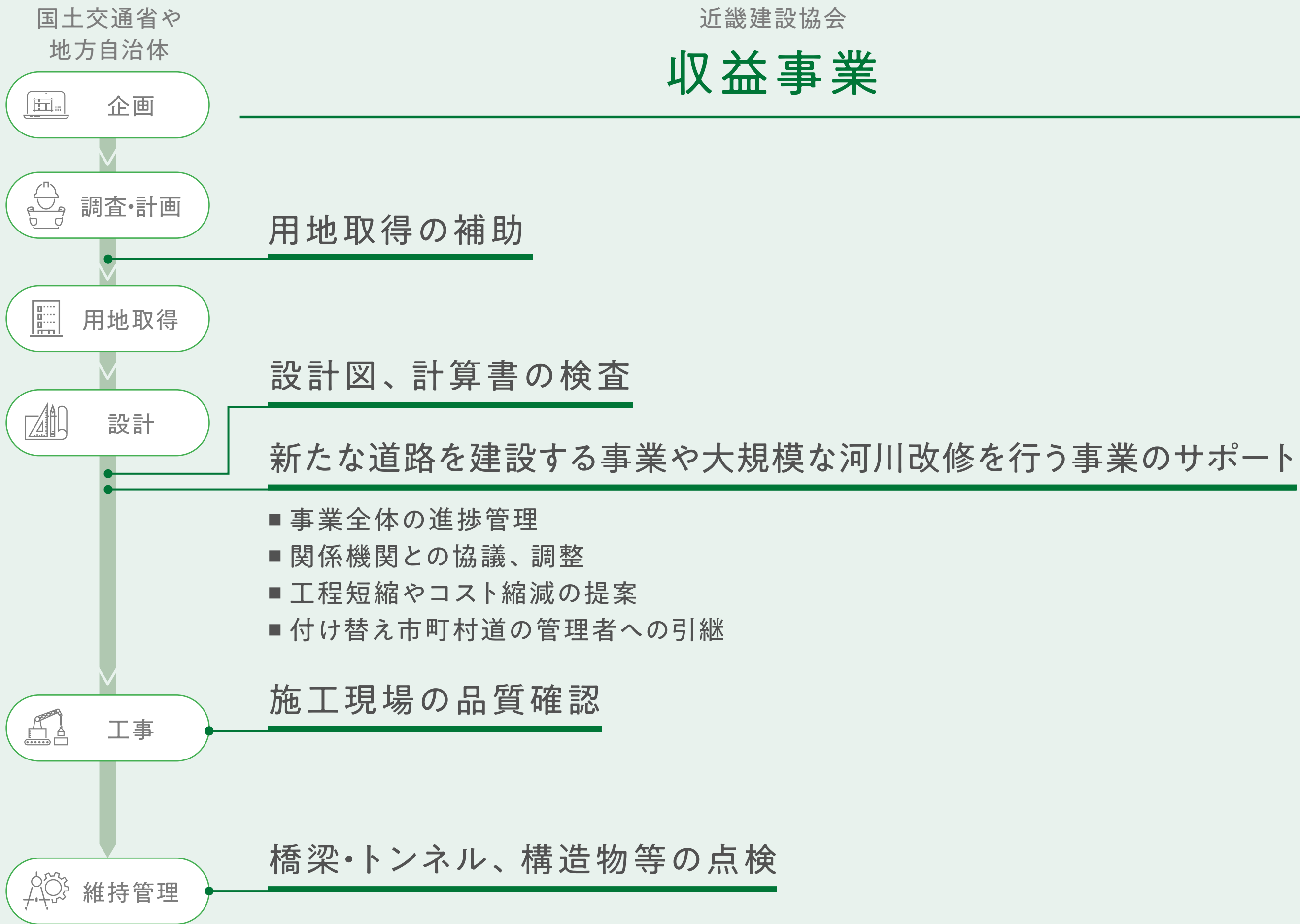
近畿の 暮らしを支える

私たちは、国土の利用・整備又は
保全の事業を推進することで、地域の発展、
安全・安心な社会づくりに貢献します。



事業イメージ

国土交通省や地方自治体が担う、道路・河川のインフラ整備に係る各フェーズのサポートを行っています。



近畿建設協会

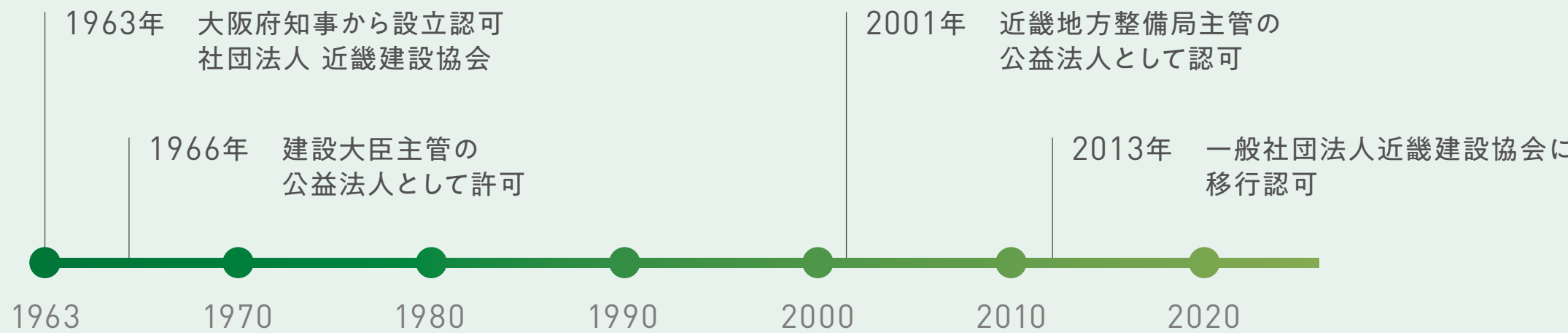
公益事業

- インフラ整備の重要性についての広報
- 建設技術の向上に関する研究助成
- 災害支援活動

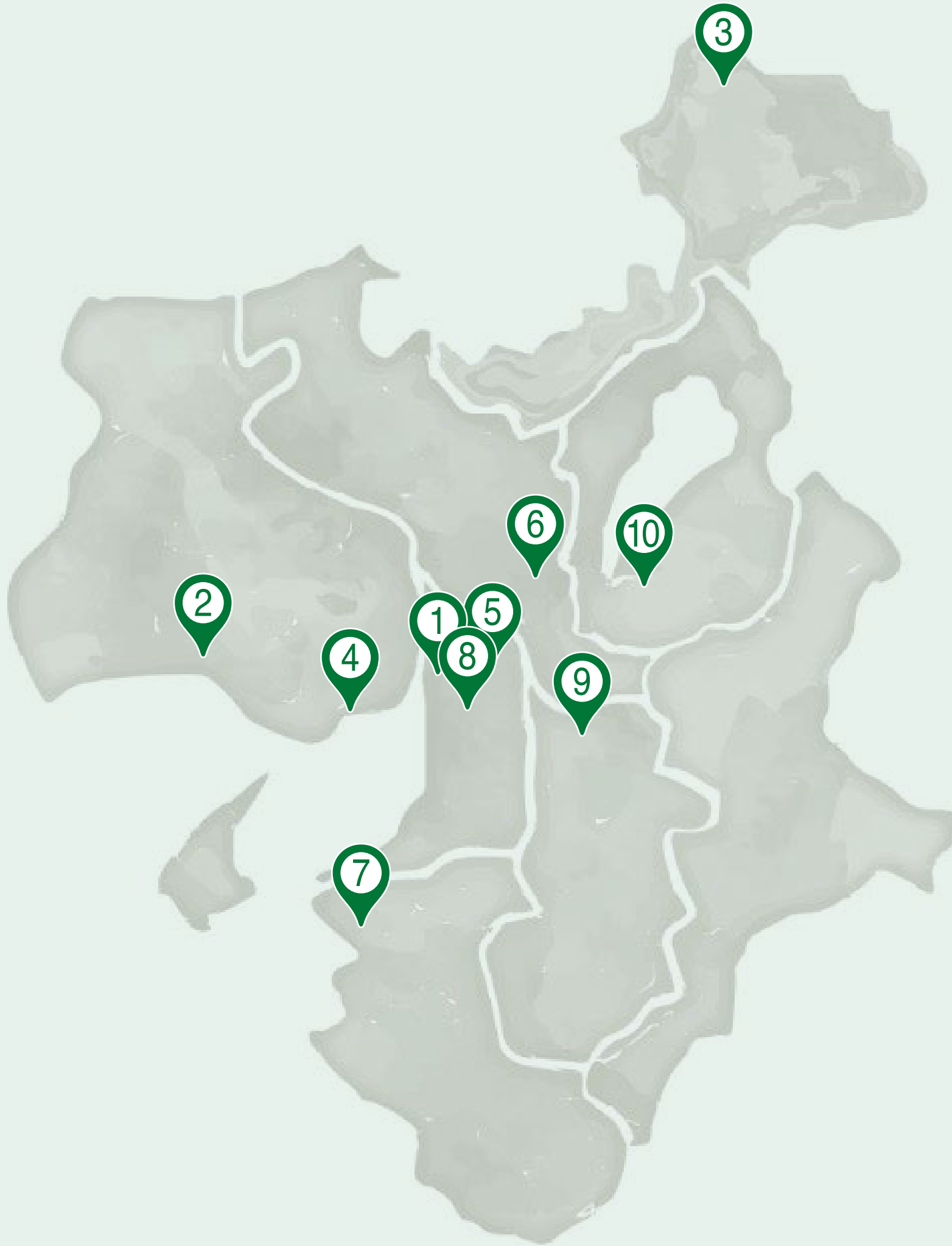
法人概要

建設事業の推進を図り、国土開発の発展に寄与します。

名 称	一般社団法人 近畿建設協会
本 社 所 在	大阪府中央区大手前1-7-31 OMMビル
法 人 設 立	昭和38年7月(1963年)
売 上 高	約30億円(2020年度)
従 業 員 数	約250名
拠 点	9支所
主な取引先	国土交通省近畿地方整備局
業 種 登 録	建設コンサルタント登録 / 測量業者登録 補償コンサルタント登録 / 一級建築士事務所登録
認 証 取 得	ISO9001(2020年12月22日 再認証) ISO/IEC27001(2020年12月22日 再認証)



- ① 本部
- ② 姫路支所
- ③ 福井支所
- ④ 神戸支所
- ⑤ 枚方支所
- ⑥ 京滋支所
- ⑦ 和歌山支所
- ⑧ 大阪支所
- ⑨ 奈良支所
- ⑩ 琵琶湖支所



「公益事業」の紹介

広報及びその支援事業

社会資本整備の必要性等を広く発信するために情報発信や広報啓発活動を行っています。また、海外からのJICA研修員等を対象に日本文化の紹介や視察等の研修サポート支援を行っています。

調査研究及び研究助成事業

土木工事及び環境工学に関する分野の研究の向上を図ることを目的に、社会資本整備に関するあり方・技術の向上・環境保全と創造等についての研究、及び自然災害防止に関する研究に取り組んでいる大学・高等専門学校の研究課題に対して、研究費の助成を行っています。

助成実績(2021年度)

- 京都大学
- 神戸大学
- 大阪市立大学
- 近畿大学
- 立命館大学
- 大阪府立大学工業高等専門学校
- 神戸市立工業高等専門学校
- 福井工業高等専門学校

ええもんTM使って、ええもん創ろ！ 建設技術展 近畿 建設技術展の開催

民間企業等において開発された新技術・新工法を展示及び紹介し、産・学・官の交流を行うことで、建設技術のより一層の高度化、より広範囲な技術開発の促進、新技術の積極的な活用を促すことを目的とし、日刊建設工業新聞社と共同主催で「建設技術展 近畿」を開催しています。



Staff's Voice /

社会資本整備に関する講演会・シンポジウムの運営に関わる調整やマニュアルの作成等を行っています。また、講演会当日は会場準備や受付などのスタッフとして参加します。

経営企画部 山本 七海



「収益事業」の紹介

事業を円滑に進めるためのサポート

－ 事業監理、事業促進PPP(Public Private Partnership)－

新たな路線を改築する事業や大規模な河川改修を行う事業を円滑に進めるために、発注者(国・地方自治体)に代わって、事業の進捗管理や関係機関との調整、土量配分計画、工期短縮・コスト削減のための提案などを行います。

事業サポートの実績



Staff's Voice /

この業務では、関係行政機関と協議を行ったり、事業工程の進捗管理等を行っています。調査・設計段階から工事完成まで幅広く携わることができるので、事業全体を学ぶことができます。

技術管理部 大山 久美子



「収益事業」の紹介

河川や道路の点検

河川や道路における施設や構造物を常時良好な状態に保つため、現地にて調査・点検を実施し、異常・変状の診断、健全度の評価、補修対策の提案を行います。

Staff's Voice /

年末までは現場での点検作業が主な業務になります。
そして、年末からは成果品として納品できる形にするために点検結果のチェックや資料整理等の内業が中心になります。

技術部 藤井 拓弥





RECRUIT

仕事の成果や適性を評価し、 役割に応じた階級を設定

職員の目指す将来像に向けて、その目標に向かって目指す道を選択し
ステップアップしていくことができます。

監督職に上がるときには、
将来組織全体のマネジメントを担う「ゼネラリストコース」、
特定業務での高度な専門スキルを発揮する「エキスパートコース」の
いずれかに本人の意向や評価に基づき移行します。



高梨 貞章 (58歳) 支所長

所属部署の責任者。
部署内の管理だけでなく、
部署間の調整、組織全体の
マネジメントに関わる。



白神 敦 (43歳) マネージャー

プロジェクト、人員管理、
環境整備等、所属部署全体の
マネジメントを行う。



玉崎 千明 (37歳) アシスタント
マネージャー

リーダーとしてプロジェクトを管理。
併せて所属部署のマネジメントを
サポートする。



阪本 仁美 (32歳) チーフ

経験を活かし、プロジェクトの
主担当として従事。
担当職への指導も行う。



森元 寛太 (22歳) アソシエイト

実務経験を積み、
仕事を覚える。

NEW
新入社員

担当職

指導職

監督職

管理職

上級管理職

20代

30代

40代
以降

スキルアップの取り組み、教育・研修体制

能力向上のため、 社内研修の充実化を図っています

業務の確実な履行と品質確保・向上を図るため、
職員のスキルアップに向けた各種研修・講習会を実施しています。
また、技術士等の資格取得を目指す職員に対して講習会を実施し、
資格取得の支援を行っています。

資格取得情報(2018-2020)

- 技術士第二次試験(技術士) 2名
- 技術士第一次試験(技術士補) 8名
- 土木学会認定上級土木技術者 2名
- 土木学会認定1級土木技術者 4名
- 1級土木施工管理技士 2名
- RCCM 1名
- コンクリート技士 1名
- 河川点検士 2名

同期や年の近い先輩・
後輩と合同で受講する研修や、
専門技術を学ぶ講習会等、
幅広い研修内容と
なっています

経営企画部 岩崎 暖佳

現場技術研修



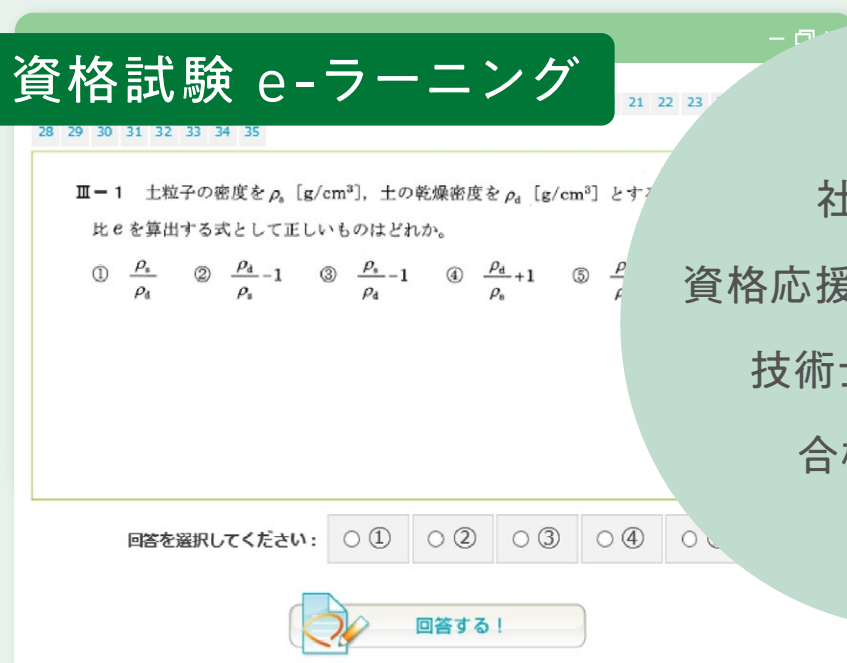
Web会議システム



実機を用いた講習



資格試験 e-ラーニング



社内研修や
資格応援サイトを活用し、
技術士一次試験に
合格しました!



経営企画部 三宅 達也

研修動画掲載コンテンツ



資格応援サイト



社内コミュニティ(社内報)

若手社員が中心となって、
社内向けの広報誌を作成しています。

各部署の様子や新入社員の紹介、社員の結婚・出産のお祝いコメント、
地域のお役立ち情報などを配信。

同年代の社員と
案を出し合い、協力しながら
社内報を制作しています

技術部 北野 伊淑

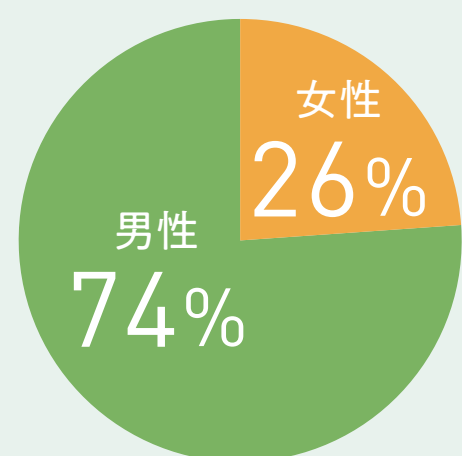


通常の業務では
関わることのない他部署の人と
交流を深めることができる
良い機会になっています!

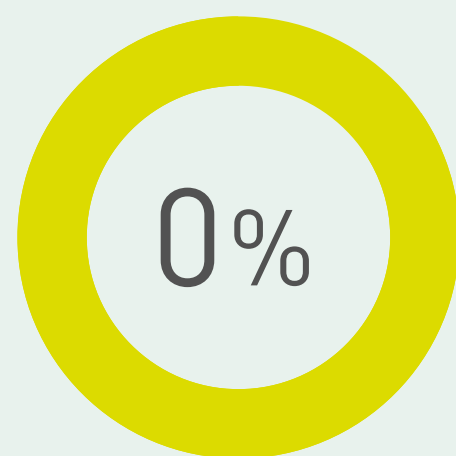
総務部 阪口 大貴

数字で見る組織情報

Q. 男女の割合は？



Q. 3年後の離職率は？
(2014～2018年度入社)



Q. 女性職員の
産休・育休取得率は？



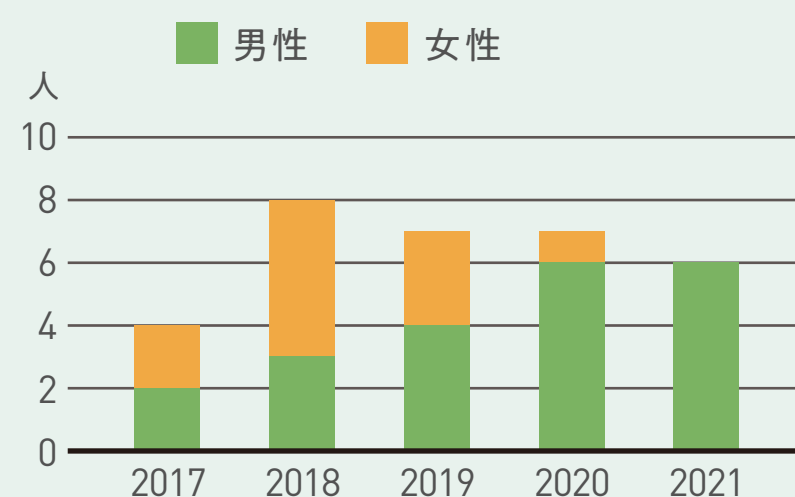
Q. 残業の月平均時間は？



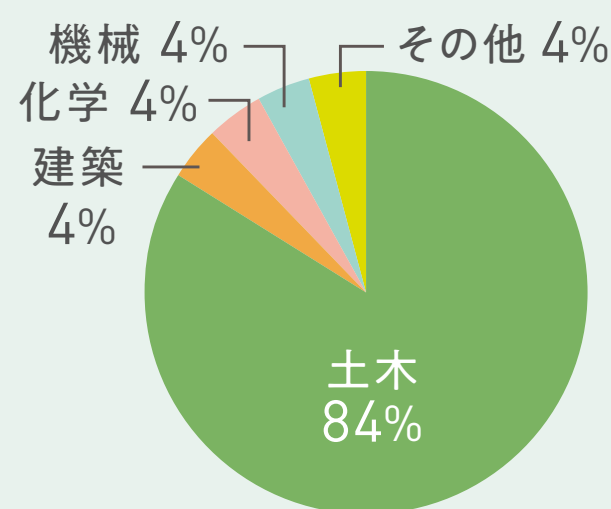
Q. 有給の年間平均取得日数は？



Q. 直近5年間の採用人数は？



Q. 技術職の
専攻は？
(過去5年間)

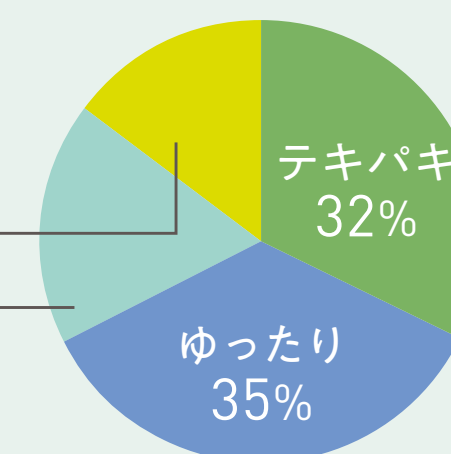


Q. 出身学校は？
(過去5年間)

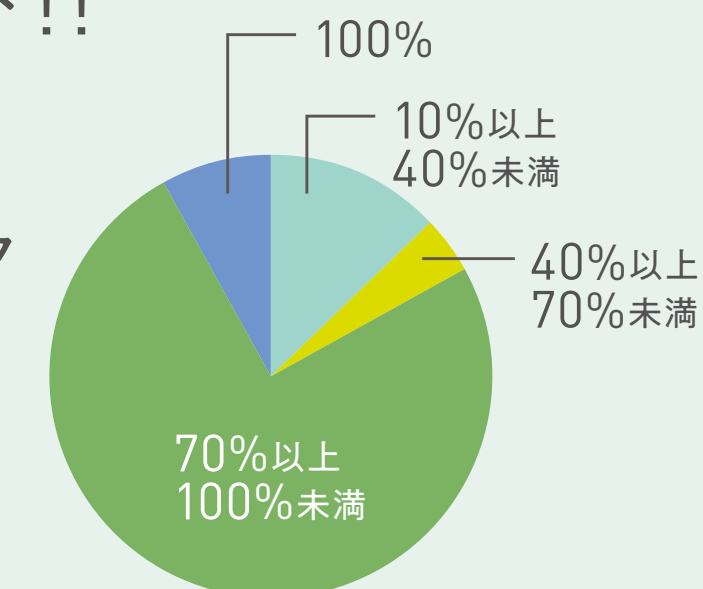
- 1位 近畿大学
神戸工業高等専門学校
摂南大学
- 2位 関西大学
- 3位 大阪工業大学
福井工業大学
立命館大学

入社5年目までの職員にアンケート!!

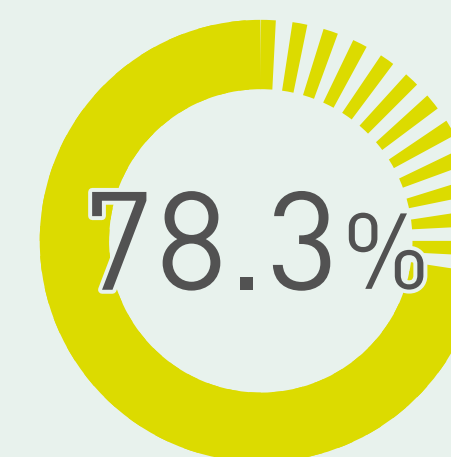
1. 社内の
雰囲気は？
アットホーム15%
にぎやか18%



2. 技術職の
デスクワーク
の比率は？
(ひと月あたり)



3. 満足度



職員の声

- 職場環境がよく、現場での経験を積むことができています。
- 福利厚生も充実しており、会社全体の雰囲気も良い。
- 労働環境が良く、仕事だけでなく私生活も充実できる。
- 研修が多く、知識を身につけられる。

社員インタビュー



技術管理部
西尾 彰宣
入社6年目

— 自分の業務を進める傍ら、職員のスキルアップを支援しています

トンネルの工事は見えない山の中を掘削するという特性、想定外の山の変化が発生することがあります。そのため掘りながら山の特徴を的確に把握し、施工の安全性と経済性の両立を図る施工が必要です。その際、トンネルの専門家として国土交通省と建設業者の間に入り、地山の崩落を防ぐために重要な支保工の選定に関する助言や指導等を行うのが私の今の仕事です。

また、近畿建設協会入社前のIT業界での経験を活かし、私が新たに取り組んでいるのは国土交通省が進めている「BIM / CIM(ビムシム)」というICT技術を活用した建設業の情報システム化への対応です。計画、調査、設計の段階から3次元モデルを導入し、一連の建設生産・管理システムの効率化と高度化を目指すもので、職員の皆さんがBIM / CIMに円滑に対応できるよう、勉強会を定期的に開催する等、各人のスキルアップを支援しています。



福井支所
菱刈 伽莉
入社8年目

— 大きな事業に携われることに、とてもやりがいを感じています

私は福井事業監理室に勤務し、予算何十億という国道の道路改良や、橋の架け替えなど、現在8つの事業に関する事業監理業務に携わっています。工事の予算やスケジュール、進捗状況の管理などをメインに、発注者と打ち合わせを行ったり、月に数回現場にも足を運びます。入社8年目でまだ完了したプロジェクトはないのですが、工事が進み、年々少しずつ完成に近づく現場を見るのはとても楽しいです。初めて携わった事業で、トンネルが貫通し、遠くに光が見えた時はとても感動しました。

社員インタビュー



経理部
三橋 夕貴
入社7年目

— 仕事と育児を両立し、頑張っています

現在私は2人の子どもを育てながら仕事をしています。近畿建設協会は女性活躍推進法に基づいた行動計画を定めていて、時代に合った働きやすい環境になっています。産休育休の文化が根付いているので上司にも相談しやすく、保育園に入れなかった場合も育児休業延長の申請ができます。初めての復帰の時は少し不安でしたが、仕事に子どもの調子が悪いときなどは、職場で周りの人がサポートしてくれる体制も整っています。また、通勤時間は本を読んだり、好きな動画を見たり、唯一ひとりの時間が楽しめる時間に。仕事に行くことがリフレッシュになっています。



京滋支所
森元 寛太
入社1年目

— 色んなことにチャレンジできるのが近畿建設協会の魅力です

初めて担当となった道路構造物点検の仕事では、国が管理する道路や橋などの構造物の状況を把握し、異常や変状の診断を行うため、毎日先輩と現場に出かけるのですが、新入社員の目線に合わせて指導してくれる先輩・上司が多く、とても仕事がしやすいです。新入社員向けのスキルアップ研修もあるので、入社後も知識や専門性を高める学びの機会があります。また近畿建設協会には、他にも設計の検査や、事業の監理など様々な業務があり、色んなことにチャレンジできる環境です。私の今の目標は、まず「技術士補」の資格試験を受け、実務経験を積んだ上で将来的には「技術士」資格を取得したいと思っています。

選考プロセスについて

選考の流れは大きく7つのステップで構成されています。
会社訪問は随時受付しておりますので、お気軽にご相談ください。



詳しくはWebサイトの
採用ページをご確認ください。



- ① 個別に会社説明をしております。
- ② 総務部にて書類選考をいたします。
- ③ 論文試験を受けていただきます。
- ④ 面接試験は、役員との面接（1回）となります。

- ⑤ 内々定を通知します。
- ⑥ 10月に内定式・内定者研修を行います。
- ⑦ 配属先をお伝えします。